

## 8月9日：リスク選好姿勢の高まりから、VN指数は続伸

火曜日のベトナム市場は、インフレに対処し経済成長を促進しようとする政府の意向からリスクをとる動きが広がり、VN指数は続伸した。

ホーチミン市場のVN指数は0.17%高の1,258.85ポイントで取引を終えた。同指数は月曜日0.32%高の1,256.75ポイントで引けていた。同市場の売買高は16兆ドン（約6億8,400万ドル）、売買代金は7億2160万株だった。

騰落別では270銘柄が上昇し、その内12銘柄がストップ高となった。一方193銘柄が下落した。

ホーチミン市場の上位30銘柄で構成されるVN30指数は+0.37%の1,281.44ポイントとなった。主な上昇銘柄には、アジアコマーシャル銀行（ACB）、FPT（FPT）、ペトロベトナムガス（GAS）、HDバンク（HDB）、ホアファットグループ（HPG）、ミリタリーコマーシャルバンク（MBB）、マサングループ（MSN）、モバイルワールドグループ（MWG）、ノブランド（NVL）、ティエンフォン商業銀行（TPB）、ビングループ（VIC）、ベトジェット（VJC）、VPバンク（VPB）が含まれた。

7月に発表したマクロ市場レポートで、BIDV証券は8月のVN指数に関して2つのシナリオについて予想を立てた。

1つ目はVN指数は1,200ポイント台で推移し、流動性が高まり市場に上昇志向が広まったときに1,300～1,320ポイントに近づいていくというシナリオだ。

「ベトナム経済が引き続き好調であることに加え、当局のインフレ対処と経済成長の促進、そして銀行による貸し付けの解放に対するそれぞれの努力により、マーケットは第2四半期の結果とは違ったものになると予想できる。この期間に良いパフォーマンスを見せる銘柄は魅力的な投資先となりうる。出来高は1日当たり8～10億ドルで推移すると予想される」（BIDV証券）

もう一つはアメリカをはじめとする先進国のリセッションや中国のCOVID-19による経済停滞が影響するシナリオだ。この場合、VN指数は1,200ポイント付近で推移する。

ベトドラゴン証券によると「先週の終わりから続く揉み合い相場は今も投資資金の動きに影響を与えており、市場の上昇はわずかなものになっている。」という。

マーケットの動きは一般的に現在も緊張状態で揉み合いだとみられているが、値上がり銘柄は全3市場を牽引しており、多くの業種が上昇している。

「市場全体は上昇トレンドが続いているが、その動きはいまだに小幅にとどまっている。しかし活発な投資資金が一部の中小型株に向かったことで流動性は高まりつつある。一方でVN30指数銘柄のオーダーマッチング取引の出来高が大きく減少しているように、大型株は資金流入が乏しく、依然として値動きが重い。VN30指数の動きはあまり大きくない。」(ベトドラゴン証券)

「先週見られた堅調な値動きから、今後マーケットは上昇していくと予想されており、投資家は魅力的な状況の銘柄の買い増しを考えるべきである。一方で上値抵抗線付近への急速な株価の上昇は、投資家の利益確定の売りを誘発する恐れがある。」(同証券)

ハノイ市場のHNX指数は+0.03%の301.41ポイントと続伸で火曜日を終えた。同指数は前日+0.48%の301.33ポイントで終えている。出来高は1.6兆ドン相当の9,690万株であった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。